

日本型雇用の変遷

-日本版ジョブ型雇用を考える-

雇用ジャーナリスト

海老原 嗣生 氏

(株)ニッチモ 代表取締役
労働政策審議会人材開発分科会委員
中央大学大学院戦略経営研究科客員教授

近年、企業活動のグローバル化やコロナ禍による働き方の変化などを背景に、従来の日本型雇用の特徴である「メンバーシップ型雇用」の限界が顕在化しており、欧米の雇用慣行を参考にした「ジョブ型雇用」を積極的に導入する動きが高まっています。

そこで今回は、人材マネジメントや雇用問題について造詣が深い海老原嗣生氏に日本と欧米の雇用慣行の違いなどを踏まえながら、日本版ジョブ型雇用のあり方について詳しくお話しいただきます。

日時

2021年 **2月18日** (木) 14:00~16:00

開催形式

Zoomによるライブ配信 (定員100名) 先着順 会員無料

※当日はチャットで講師に質問ができます。

※後日、当日の録画映像をオンデマンド配信する予定です。

(オンデマンド配信の詳細は別途、ホームページにてご案内)

主な内容

- ・ 脱日本型雇用の論争
- ・ 日本版ジョブ型雇用をめぐる誤解を解く
- ・ 日本版ジョブ型雇用は欧米型とどこが違うのか
- ・ 日本版ジョブ型雇用とは 等

申込

ホームページ (<https://www.tokyokeikyo.jp/>) からお申し込みください。